

韓国企業のスコネック社と業務協力を締結 CAセガジョイポリスがBtoG(行政)向けのVR製品事業を展開 「消防訓練」、「化学事故対応訓練」においてリアルな現場を仮想体験可能

CAセガジョイポリス株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役:吉本 武)は、7月19日(月)に韓国企業であるSKONEC Entertainment Co., Ltd.(以下「スコネック社」という)と業務協力を締結いたしました。スコネック社は、韓国No1のMetaverse VR企業。BtoC向けのVRゲーム事業を通じて蓄積したVR技術や運営ノウハウを活かし、韓国国内でBtoG(行政)向けにXR教育訓練事業も展開しています。この度、CAセガジョイポリス株式会社は、日本国内でのBtoCのVRコンテンツのオペレーション事業の実績を活かし、スコネック社と協力しBtoG(行政)向けの「消防訓練」、「化学事故対応訓練」用のVR製品の販売を新規事業として展開いたしますので報告いたします。

※発売日の決定、日本の消防法への変更などのローカライズはこれからとなります。

VRを用いた訓練では様々な現場をリアルに仮想体験することが可能です。現在、消防訓練用のVR製品は体験用として韓国ではデゾン119センターとカンヨンド安全体験施設の2か所に設置されており、化学事項対応訓練のVR製品は韓国政府機関である化学物安全院の教育センターで正式に採用されています。日本でも「消防訓練」用のVRを防災産業展に出展することが決定しており、今後の行政での活用に向けて準備を進めております。

下記では「消防訓練」と「化学事故対応訓練」のVR製品について説明いたします。



消防訓練システム全体イメージ

◆「消防訓練(消防士向け)」

消防訓練はホース操作と灌水技術の基本的な学習と実際の火災現場をシミュレートできるように構成されており、操作法の対応方法に基づいて評価基準を提示して繰り返し訓練することで、消防力の向上を促します。プログラムは3つの段階に分けられ、「基礎訓練」、「総合訓練」、「現場実習」の体験を行うことが可能で、最後には評価スコアを算出しフィードバックを行います。

既存の消防訓練は理論中心の訓練のため訓練した内容を現場で発揮することが難しかったのですが、現場の状況を最大限に再現できるインターフェース技術を使ったVR訓練システムは、実際の火災現場と同じような仮想空間で実践同様に消防訓練ができるため、訓練の効果が高いと評価されています。

このVR消防訓練システムを使用した消防士は、「色んな現場の特性に合わせた訓練をすることで、実際の火災現場に投入された場合でも慌てることなく即座に消防活動ができるようになる」と感じている」と言います。

また、よりリアルさを追求するために火災現場の熱感を感じられるセンサーを使用。道具も実際の消防士が使うホース酸素やタンクなど同じものを採用しており、実際の火災現場と同じ状況で訓練ができます。



現場と同じ消防士服装と
酸素タンクとホースで訓練



熱感を感じるセンサーを使うホース

【基礎訓練】

基礎訓練では、消防士の基本的な技術である消火器操作法、基本ホース操作法を取り扱います。消火器の操作手順と小規模の火災鎮圧、棒状注水、無償注水のホース操作法を学ぶことが可能です。



消火器動作法



棒状注水



放射注水

【総合訓練】

総合訓練では、ホース操作と灌水手法を取り扱います。具体的な項目設定により実践的に学ぶことが可能です。



ステップ 1、灌水開始



ステップ 2、ホース操作



ステップ 3、灌水手法 1



ステップ 4、灌水手法 2

【室内火災鎮圧訓練、】

室内火災訓練では密閉された室内の火災鎮圧を訓練する取り扱います、室内の火災はコンパートメント火災、木材火災、電気火災の3つのシナリオで構成され、室内の火災を選択時に一本ランダムに与えられ、状況の判断やそれに応じた適切な対応を学ぶことができます。



コンパートメント火災



木材の火災



電気火災

【屋外消化訓練】

屋外消化訓練ではスペースが広い屋外の消火を取り扱います。車両火災、油類タンク火災、危険物火災などの3つのシナリオのうち一本がランダムに与えられ、爆発物の危険と判断、まず鎮圧するかどうかの判断などを学ぶことができます。



油類タンク火災



車両火災

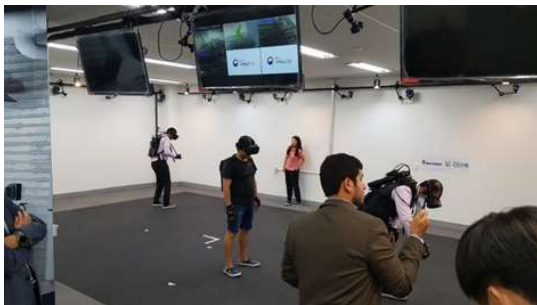


危険物優先鎮圧

今後は IoT 技術を活用して火災現場をさらにリアルに把握し、より効果的な消防活動ができるようにするのが目標です。

◆「化学事故対応訓練」

化学事故対応訓練では、先端 XR を活用した理論教育と野外訓練場、バーチャルリアリティ訓練場での仮想体験を取り扱っています。「1人塩素漏れ対応訓練」、「大空間ベースのマルチコラボレーション塩素漏れ」、「大空間でのマルチコラボレーション塩酸/フッ酸漏れ対応訓練」を行うことが可能です。韓国では、化学物質安全員の公式教育訓練にも活用されています。



※画像はベース VR AR 訓練参考イメージの一部となります。

<CA セガジョイポリス概要>

- 所在地:東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル10階
- 代表取締役社長 : 吉本 武
- 設立 : 2015年
- 事業内容: 施設事業、機器販売及びリース事業、総合プロデュース事業&ライセンスアウト事業
- 公式サイト: <http://www.casegajp.com/>

<報道関係者からのお問い合わせ先>

CA セガジョイポリス PR 事務局(共同 PR 内)
担当:大塚、阿蘇品(あそしな) TEL: 03-6260-4860 受付時間/平日 10:00~17:30
FAX: 03-4540-8325 Mail: tjp-pr@kyodo-pr.co.jp
※時間外のお問い合わせ先:CA セガジョイポリス担当:大屋 TEL : 03-6450-0209